

第3回国分寺市環境基本計画 市民ワークショップ

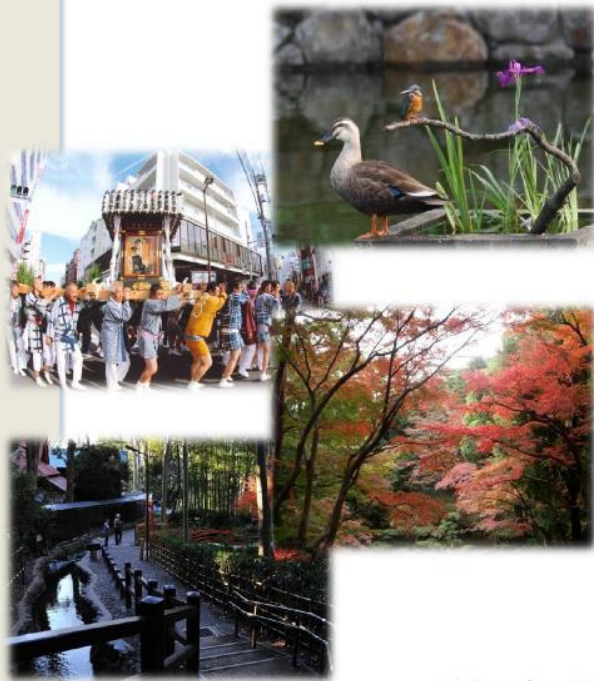
じぶん × 未来 × ぶんじ

～自分ごととして考える未来の国分寺の環境～

令和5年11月25日
国分寺市まちづくり部まちづくり計画課

環境基本計画とは・・・

第二次国分寺市環境基本計画



平成 26 年 3 月
国 分 寺 市

国分寺市環境基本計画は、「自然環境」「地球環境」「都市環境」「生活環境」「環境教育・環境学習」など、様々な環境の分野に関する市の環境施策を総合的かつ計画的に進めるための計画です。

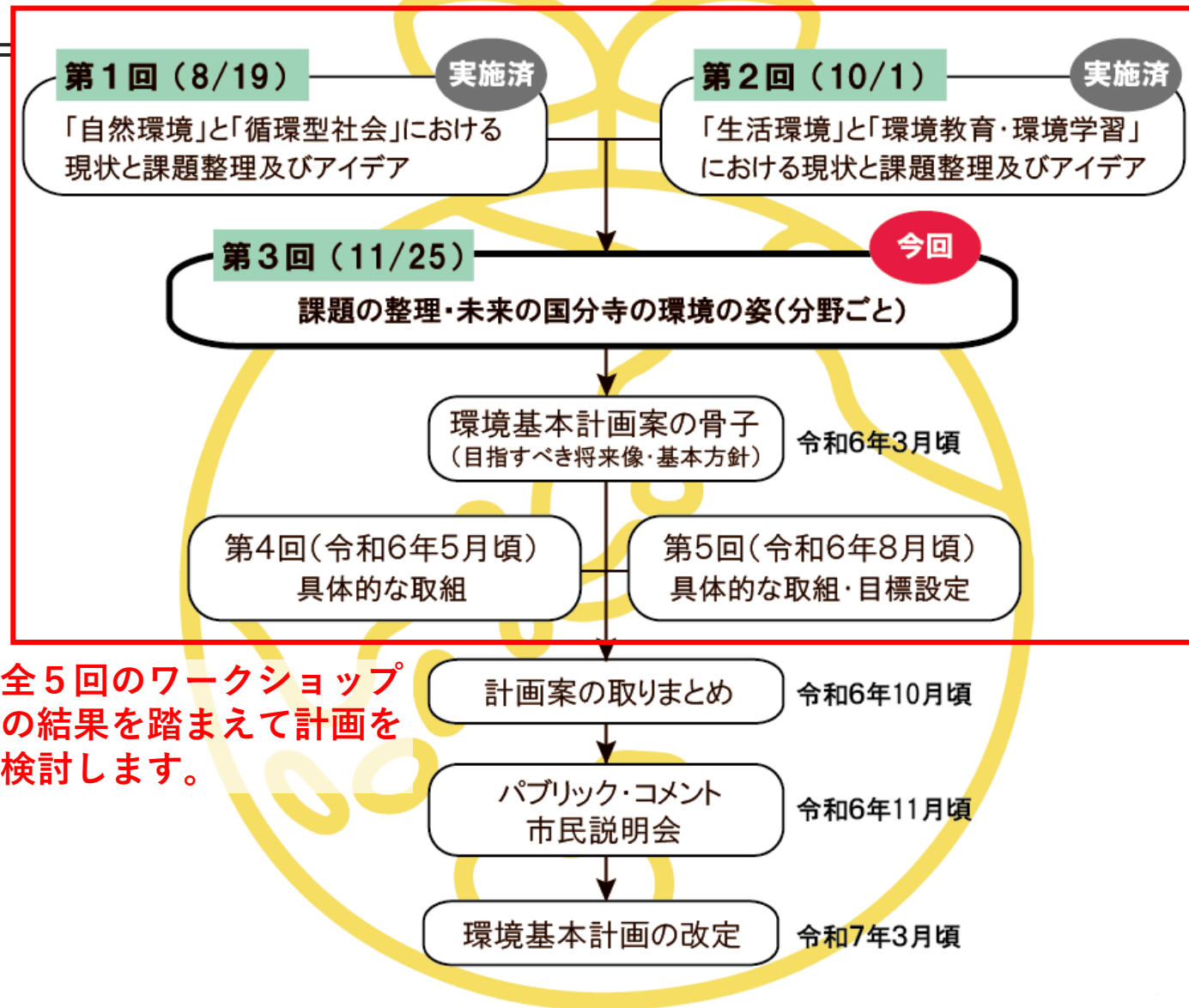
現行の計画が令和 7 年 3 月で終了することから、これまでの計画期間における社会情勢の変化や課題を踏まえ、市民の皆さんと一緒に新たな計画づくりを進めています。

ワークショップの進め方

第1回，第2回ワークショップは「現状の課題整理・アイデア出し」について議論してきました。本日の第3回は「課題の整理・未来の国分寺の環境の姿」について議論します。第4回は「具体的取組」，第5回は「具体的取組・目標設定」について，意見交換する予定です。開催日時は改めてお知らせします。



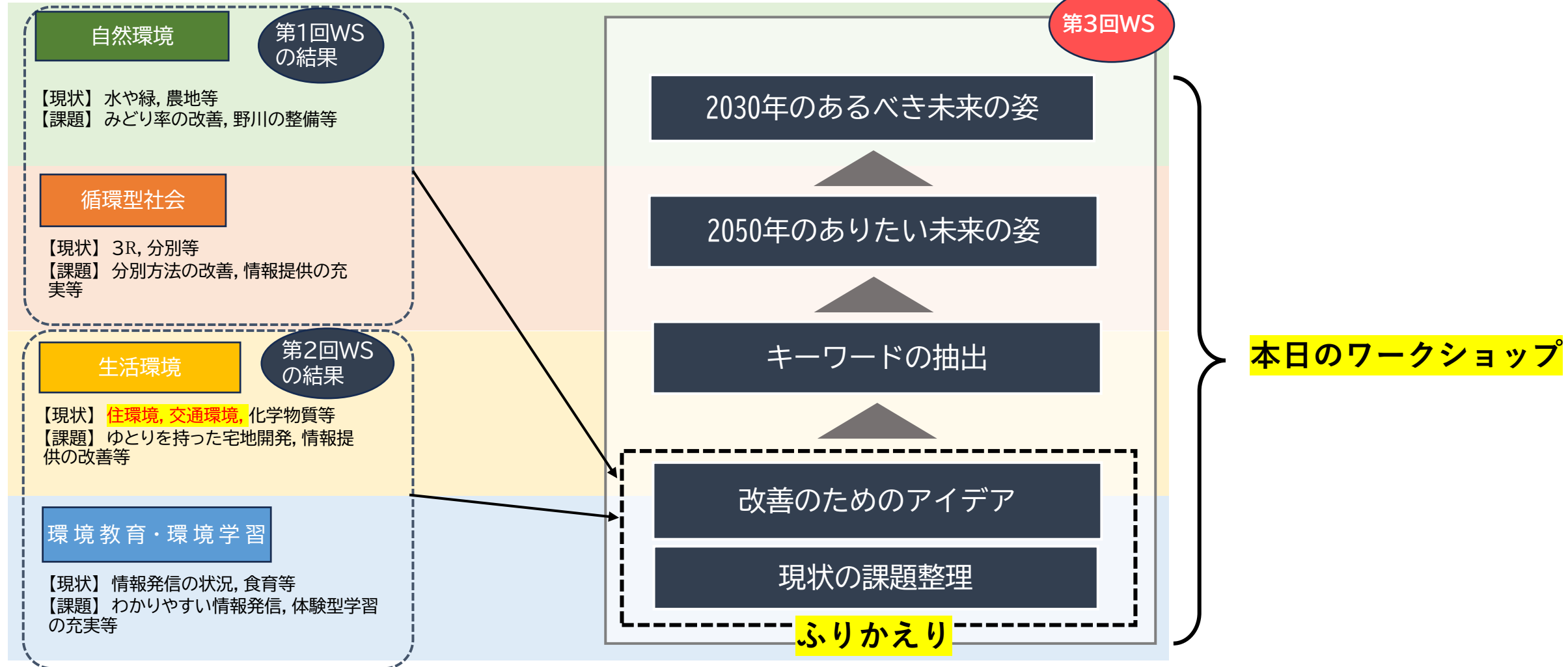
過去のワークショップの様子



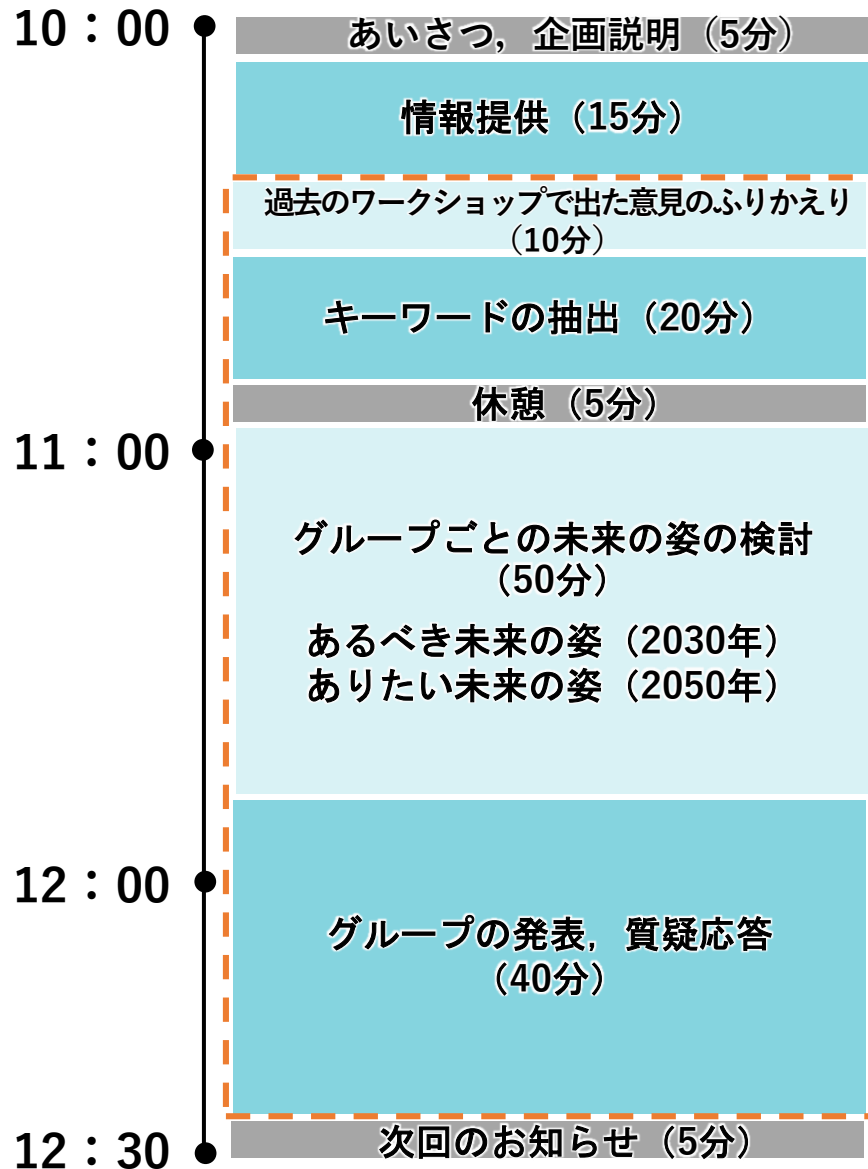
本日のワークショップ開催の目的

現状と課題及びアイデア

未来の国分寺の環境の姿



今日のプログラム (検討テーマ「課題の整理・未来の国分寺の環境の姿」)



第1回, 第2回市民ワークショップのふりかえり,
次世代アンケート結果の概要, 本日の進め方

4つの分野に分かれてグループワーク



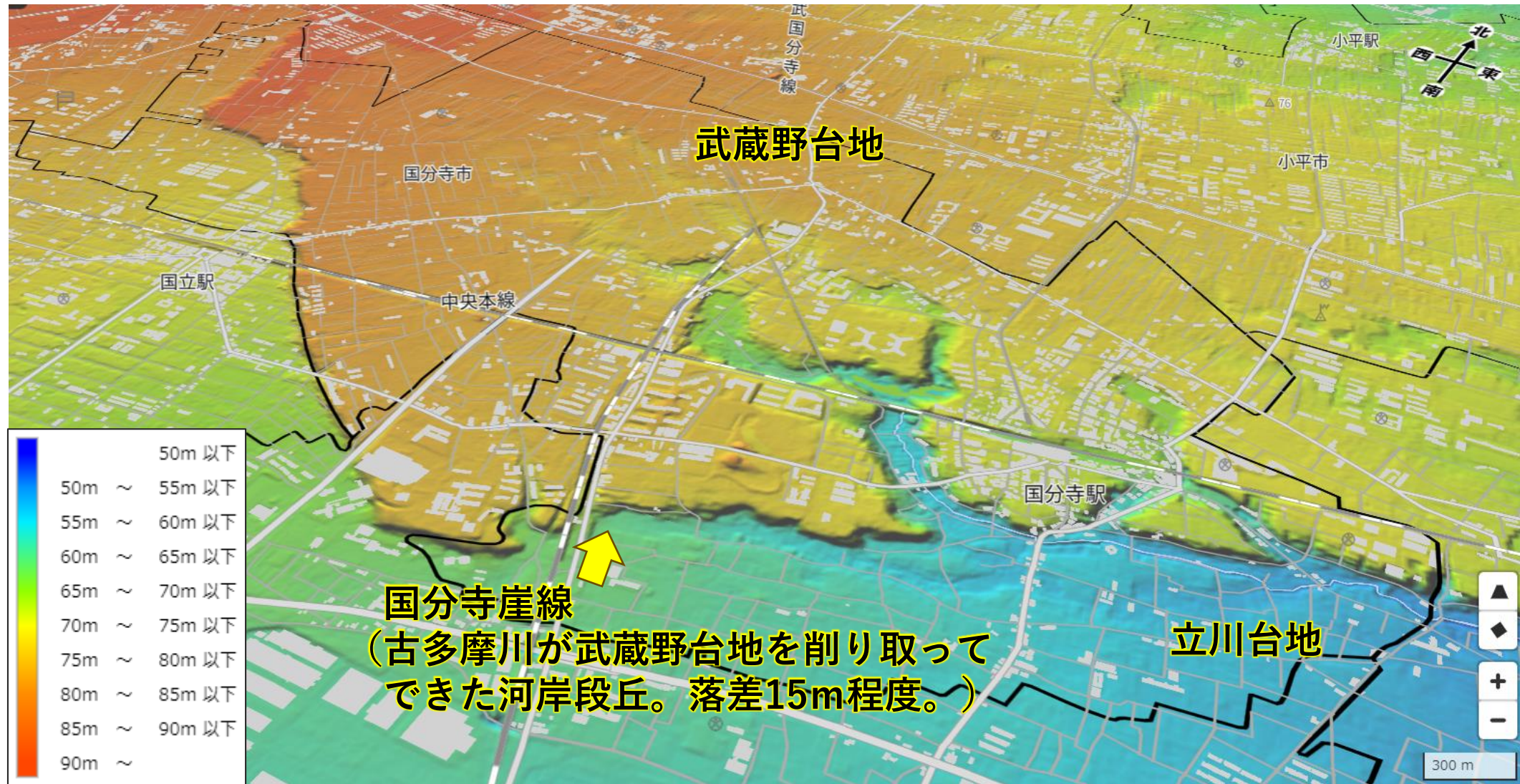
※地球環境については, 別途、脱炭素未来ワークショップを行い, それらの結果をもとに「(仮称) 国分寺地球温暖化防止行動計画 (市域版)」(R6.3予定)の策定に向けた検討を行っています。

情報提供

1. 第1回, 第2回市民ワークショップの結果概要

→過去の情報提供の内容(ダイジェスト)、意見の概要

自然環境：国分寺の自然の特徴ってなに？（地形・地質）



自然環境：水と緑の自然スポット

●ハケ沿いに残る緑：西恋ヶ窪緑地（エックス山）,伝鎌倉街道など



西恋ヶ窪緑地（エックス山）



伝鎌倉街道

●ハケの麓から湧き出る湧水：真姿の池，新次郎池など

●湧水が流れる野川，元町用水

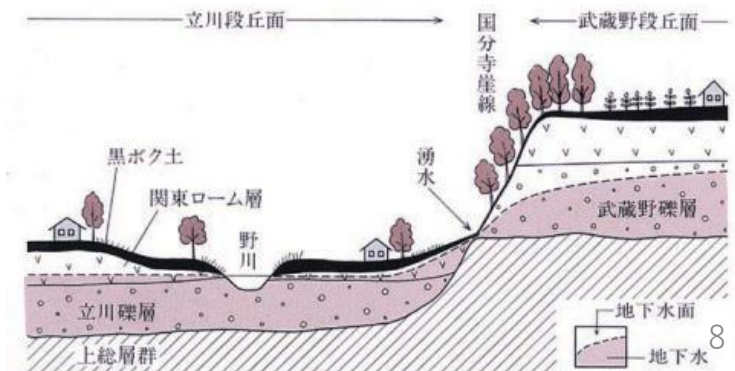


真姿の池湧水群

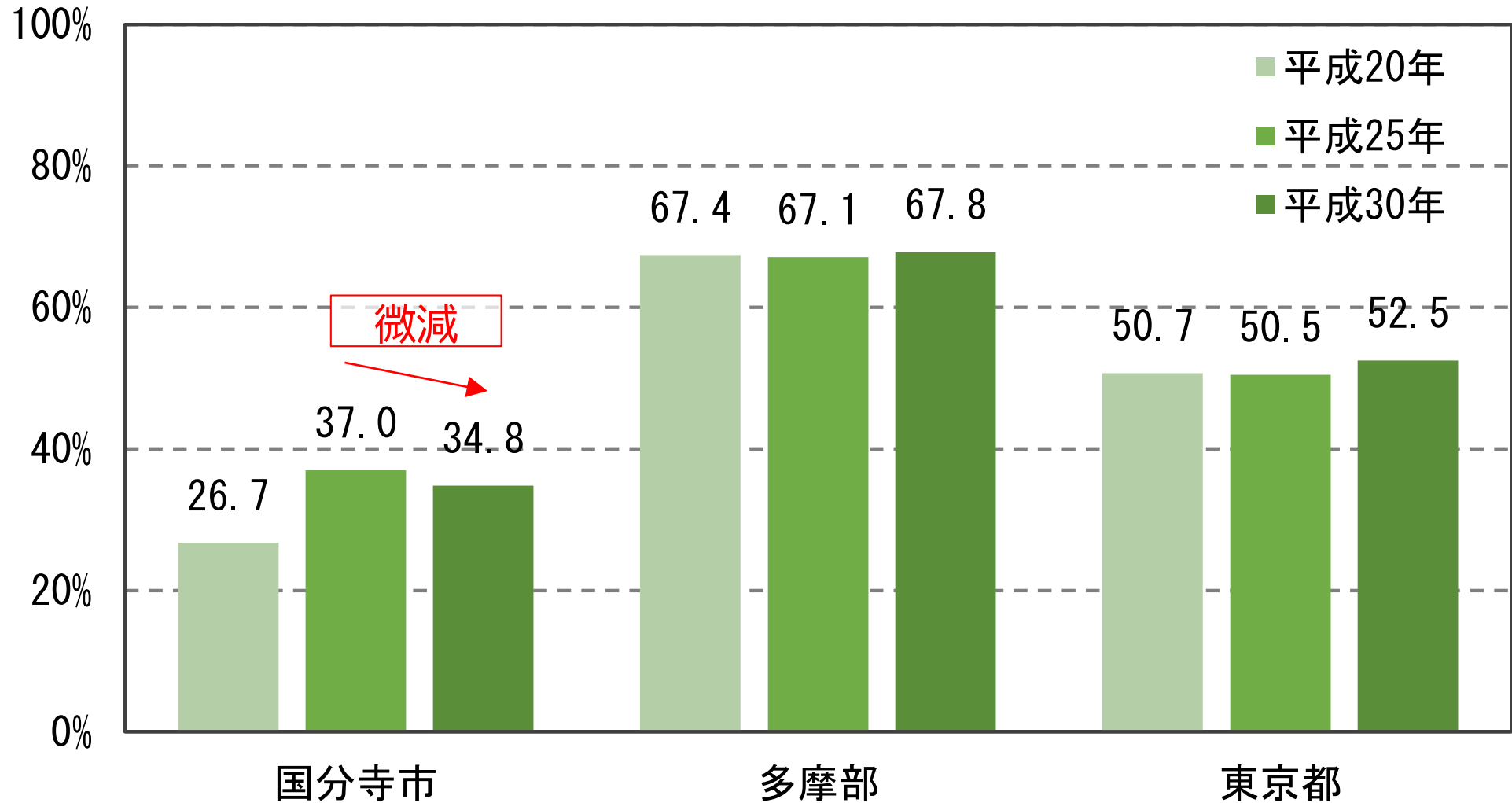


野川

●江戸時代中期の新田開発に伴う用水路等

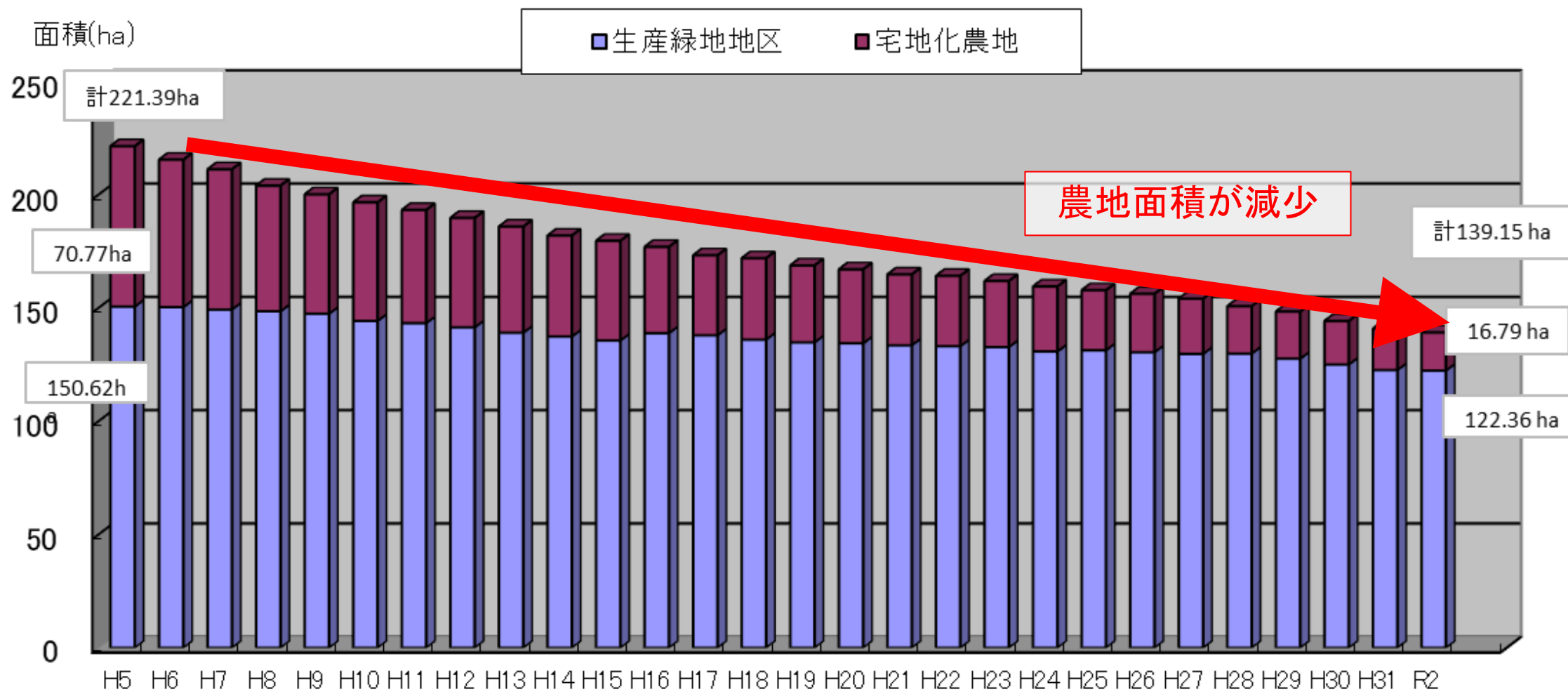


自然環境：国分寺市内のみどり率の推移（平成20年～平成30年）



自然環境：国分寺市内の農地面積の推移（平成5～令和2年）

平成5年以降から令和2年までの27年間で約82ha（その内生産緑地は約28ha）の農地が減少した。



自然環境に関して出された意見の紹介

■ 私たちが思う、自然環境の現状・問題点

強み：樹林地等の「緑」や湧水・野川等の「水」が多く、そこに生息する生きものを歩いて感じられる環境が整備されている。

：こくベジや植木を生産する「農地」が広がっており、こくベジが市民に親しまれている実感を持っている。

弱み：みどり率が減少しているというデータが表すように、地域差はあるが、昔に比べて緑や農地、そこに生息する生きものが減少した。

：その背景として、管理負担や相続、庭の無い住宅の増加といった理由が挙げられた。

：街路樹が少ない。大きな公園（武蔵国分寺公園）はあるが、大きな公園の数は少ない。

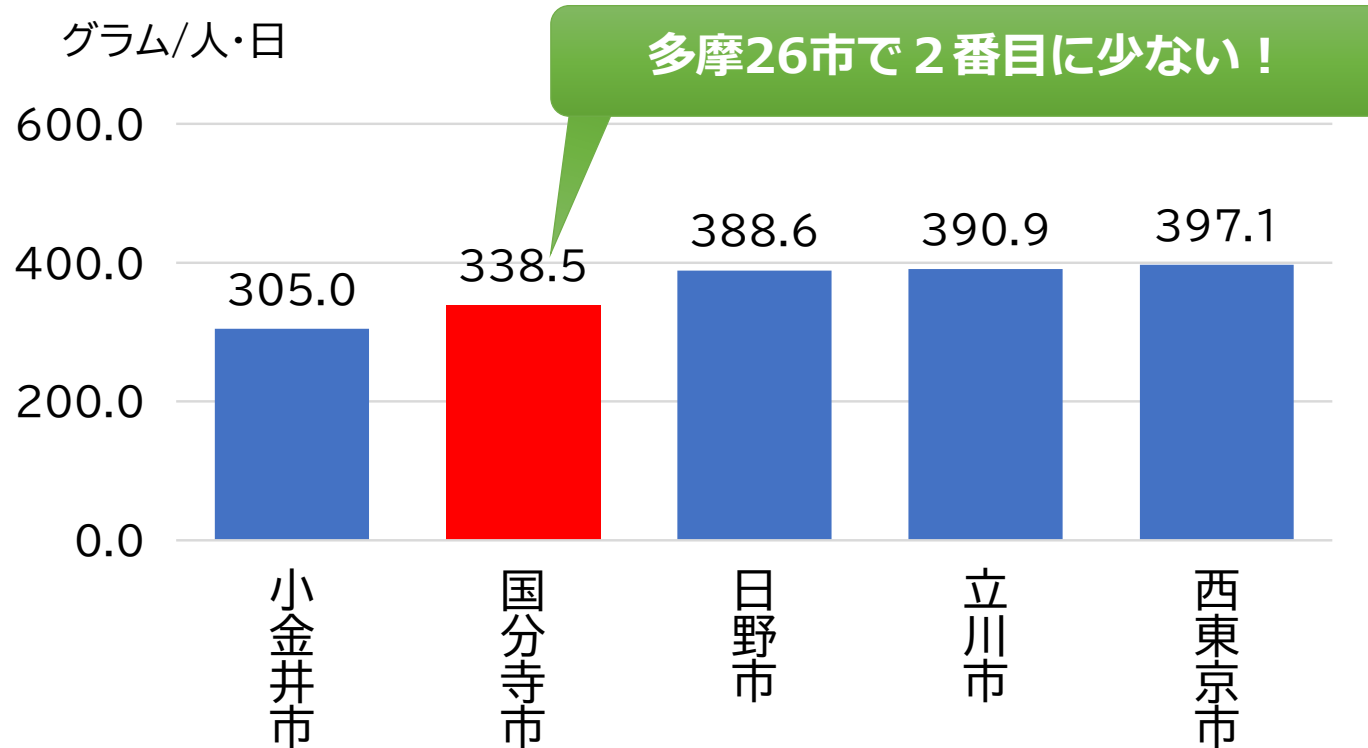
：野川の整備が進まない。環境ひろばの出席者を中心に、その原因を水害がほとんどなく実際の被害がでていないことと認知していた。

■ 未来の国分寺の自然環境をよりよくするためのアイデア

- ・ 国分寺の自然環境の強みに挙げていた「緑・水・農地」といった市の魅力を高めることが必要とする点で意見が共通していた。また、保全の主体は、市と市民との協働で行うべきであるとの意見が4班中3班で共通していた。
- ・ また、こうした強みの認知を広げるための取組として、学生への教育やイベントを通じたPRを実施すべきとの意見が多く聞かれた。
- ・ こくベジというブランド化による地産地消の推進は、既に多くの市民が賛同しているとしながらも、より認知度を高めていくことを望む声が多かった。

循環型社会：国分寺市のごみ処理の状況について

－ 国分寺市からどれくらいのもやせるごみが出てる？

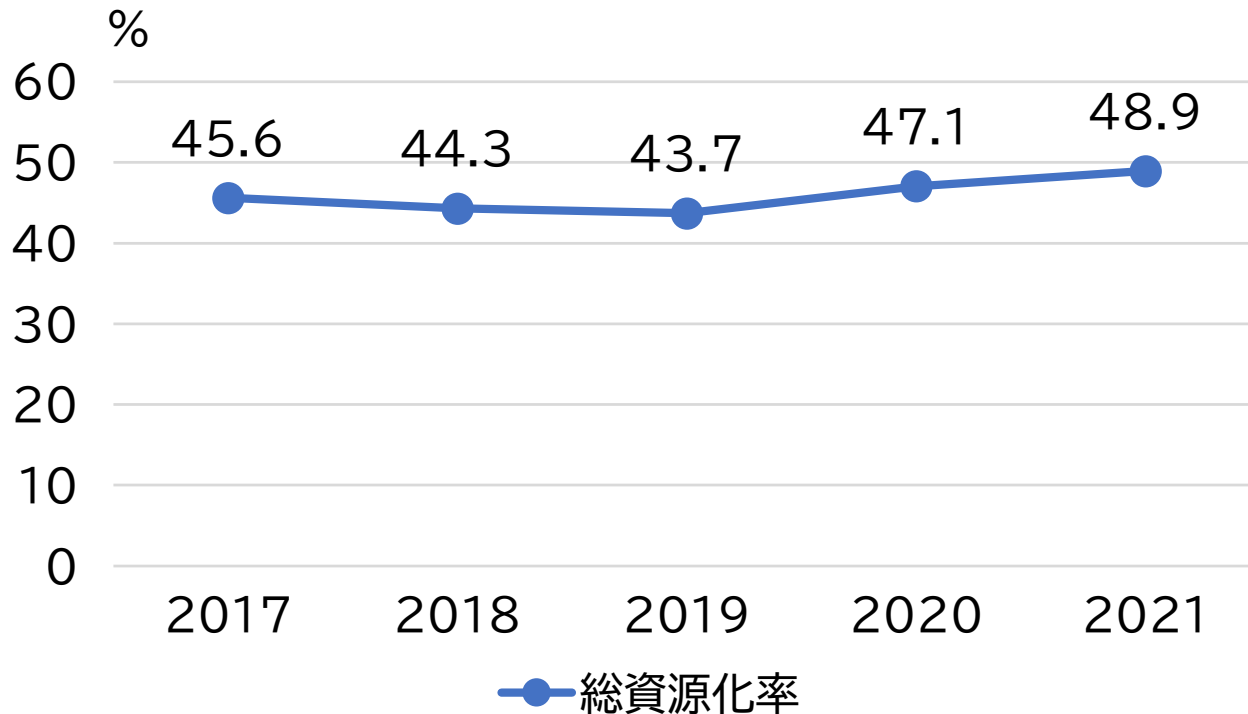


多摩地域における1人1日当たり排出量の比較(令和3年度)

出典：多摩地域ごみ実態調査2021

循環型社会：国分寺市のごみ処理の状況について

ー ごみのどれくらいが資源として利用されている？



リサイクル率の推移

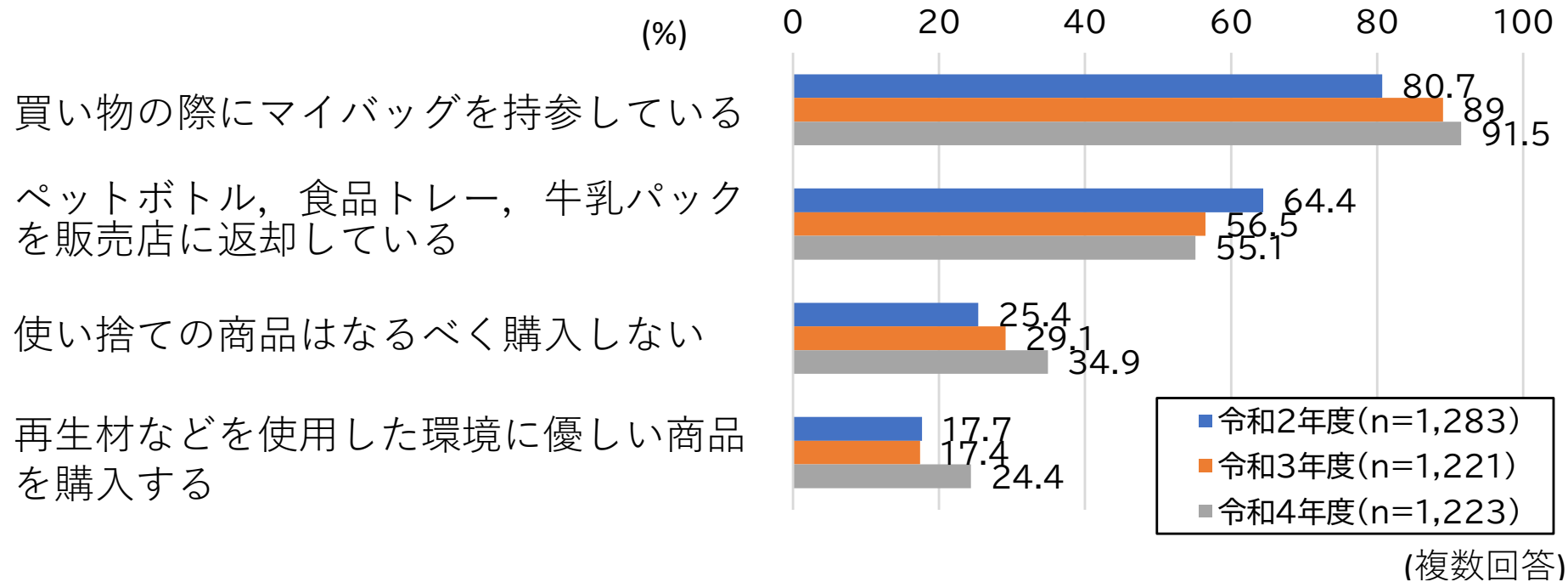
資源化率 多摩26市中の上位3市（令和3年度）

市町村名	リサイクル率 (%)	前年度比 (ポイント)
国分寺市	48.9	1.9
小金井市	48.7	▲1.8
東村山市	42.9	▲0.3

循環型社会：資源循環に関する市民の意識

【環境に配慮した行動】

問 あなたは、環境に配慮した行動を行っていますか。次の中から行っているものすべてに「○」をつけてください。



国分寺市市民アンケートより

循環型社会に関して出された意見の紹介

■ 私たちが思う、循環型社会に向けた取組、問題点

強み: 3Rやリフューズの取組として、ごみの分別の徹底、マイバックの持参、フリマアプリの活用に関する意見が、5班に共通して多く聞かれた。

弱み: 分別のルールが細かく、正しく理解して実践することが難しいとの意見も共通していた。

: 生ごみのたい肥化事業について、生ごみの回収拠点が少ない、PRが不足しているとの意見が4班中2班で聞かれた。

■ 未来の国分寺で循環型社会を築いていくためのアイデア

- 市への要望として、より分別方法を理解しやすくすべきとの意見が共通していた。その方法として、ごみ・資源物分別アプリを使って2次元コードを読み取るといった、DXの活用が意見に出た一方で、ごみ・リサイクルカレンダーといった紙媒体をもっと詳しくすべきとの意見もでており、全体として、すべての世代に対して誰一人取り残さないサービスの方向性を望んでいた。
- また、住民票を移していない1人暮らし若者には大家さんによるサポート、高齢者には介護事業者によるサポートなど、広い世代への分別のサポートを充実させるといった意見が聞かれた。

生活環境：暮らしの快適さと安全・安心に関する取組

●大気環境分析調査



市内7つの調査地点で毎年定期的に調査を実施しています。

調査項目	R4年度判定
二酸化窒素 (NO ₂)	○
一酸化炭素 (CO)	○
二酸化硫黄 (SO ₂)	○
浮遊粒子状物 (SPM)	○
PM2.5	○

出典：令和4年度事務報告書

※判定の「○」の表記は、調査項目のごとに設定されている環境基準を満たしていること

すべての調査地点で環境基準を満たしていました。



出力



生活環境：暮らしの快適さと安全・安心に関する取組

国分寺の環境美化の取組状況

○ クリーン運動

国分寺市民クリーン運動実行委員会を主体に毎年11月に開催している市民の公共場所での一斉清掃活動のこと

○ 喫煙マナーアップキャンペーン

国分寺駅において、商店会、東京経済大学、関係団体等と協働でポイ捨ての防止及び路上喫煙に関する規制の啓発等、マナーアップキャンペーンを毎月実施。

○ 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

放置自転車の撤去活動を強化するとともに、啓発用ティッシュ配布とともに放置自転車のマナー向上を呼びかける駅頭広報活動を毎月10月に実施。



クリーン運動の活動の様子



駅前放置自転車クリーン
キャンペーンの活動の様子

生活環境：トピックス グリーンインフラ

コンクリートなどの限りある資源を活用したインフラ整備（グレーインフラ）ではなく、自然が持つ多様な機能を賢く活用することで持続可能なインフラ整備を行うこと。地球温暖化の緩和や浸水対策、生きものの生息・生育空間の提供など、環境への効果が期待されている。

<屋上緑化>



<グリーンストリート>



<公共施設の緑化>



<雨庭（あめにわ）>



<雑木林（防風林）>



生活環境に関して出された意見の紹介

■ 私たちが思う、生活環境の現状・問題点

強み: 脱炭素への取組として徒歩や自転車、公共交通機関を利用する人が多い。

弱み: 脱炭素について意識が低い。

: 歩道や道路の狭さ、通学路の安全性についての意見が挙がり、危険性を指摘していた。

: PFOS、PFOA問題に不安を感じており、水質検査の結果だけではなく、人体への影響や地下水を利用した農作物の安全性についての調査、情報の公表を望む声が多く聞かれた。

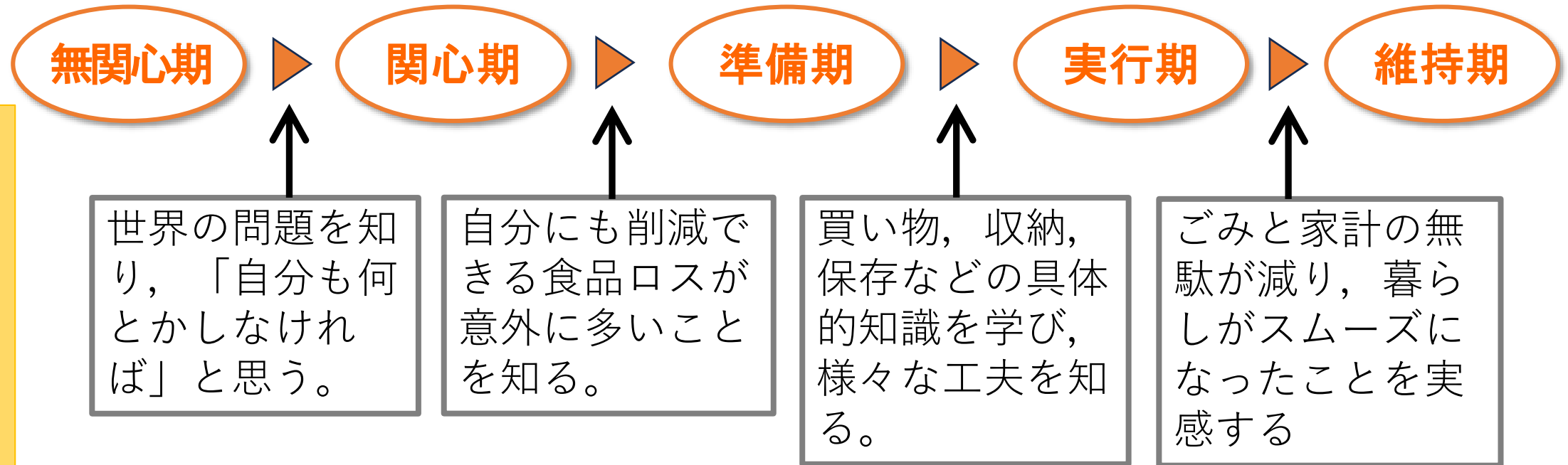
■ より暮らしを快適に、安心・安全にするための課題

- 市民が主体で取り組むべきは、脱炭素対策として徹底したゴミの分別や生ゴミを減らすコンポストの導入、こくベジの推進が挙げられた。
- 全班で、通学路の安全の確保、歩道や道路の整備が必要であるという意見が共通していた。
- PFOS・PFOA、再エネ設備導入の際の行政からの支援（安全に関する情報や補助金などの支援に関する情報）など、環境に関連する情報が届かない、分かりづらいという意見が多かったため、ターゲットに合わせた発信をする必要があるという共通の意見があった。

環境教育・環境学習：

どうしたら自分自身の環境への行動変容が起きるのか

人が行動を変える場合は5つのステージ（段階）があります



出典：「消費者教育推進プロジェクト」鳴門教育大学

見る、知るを経ないと行動には移らない

環境教育・環境学習：市の環境教育・環境学習に関する取組の紹介

●環境ひろば

市民・事業者・市が環境をテーマとして自由に意見交換する場である。誰でも参加可能。

時間：毎月第3日曜日 場所：市役所

ニュース発行

見学会

【湿地・里山保全見学】

環境ひろば 国分寺
発行 国分寺市環境ひろば 国分寺市
第178号 令和5年7月9日

【フットワーク：次期環境基本計画に向けた実行計画の概観（都市環境）】
6月18日（日）のフットワークでは、令和7年3月に策定される「第2次国分寺市環境基本計画」（以下「次期計画」という。）に向けて、実行計画の都市環境分野を中心に概観出しを行いました。
都市環境の分野では、施策の方向に基づく「環境に配慮したまちづくり」や「地域性豊かな景観の形成」において、様々な施策が挙げられています。次期計画では、実効性のある計画となるよう、目指す都市環境実現のための課題の明確化、施策目標等について市民と意見交換しました。主な意見の抜粋は、以下のとおりになります。

- ・実行計画に「地域住民の交流によるまちづくり」の施策を位置付けているが、施策を推進する取組が不足する状態であり、今後どう整理するのか考え方がよい。
- ・歩道のワイド化は、なかなか進んでいないと感じている。
- ・「基本計画で掲げた施策の進捗状況」に「自然の豊かさを享受しながら」との表記があるが、もはや自然豊かとは言えないと思う。現状認識を改めてから策定した方がよいと思う。
- ・基本計画全体に在ることが、「地域特性」や「環境に配慮」などの表記があり抽象的でビジョンが不明確で悩む。市民と一緒に議論し議論が深まったものになってほしい。
- ・実効性のある施策を計画に位置付けて、成果指標をしっかり設ける必要があると思う。
- ・市民活動がどうなされているか実態を把握しているのか、良い取組があれば展開していくということが大事だと思う。

皆様も、実行の第2次環境基本計画の内容を、市ホームページ（検索ページ番号「1003200」）でご覧いただけます。ご意見があれば、環境ひろば事務局までご連絡ください。

【国分寺市の方は必見！身近な自然とふれあう保全活動イベント「里山へGO！」参加者募集】
東京都環境局及び（公財）東京都環境公社では国分寺市民の方を優先して、身近な自然とふれあう保全活動イベント「里山へGO！」を国分寺役所の油津地保全域で開催します。市民のみならず、是非参加ください。（参加費無料）

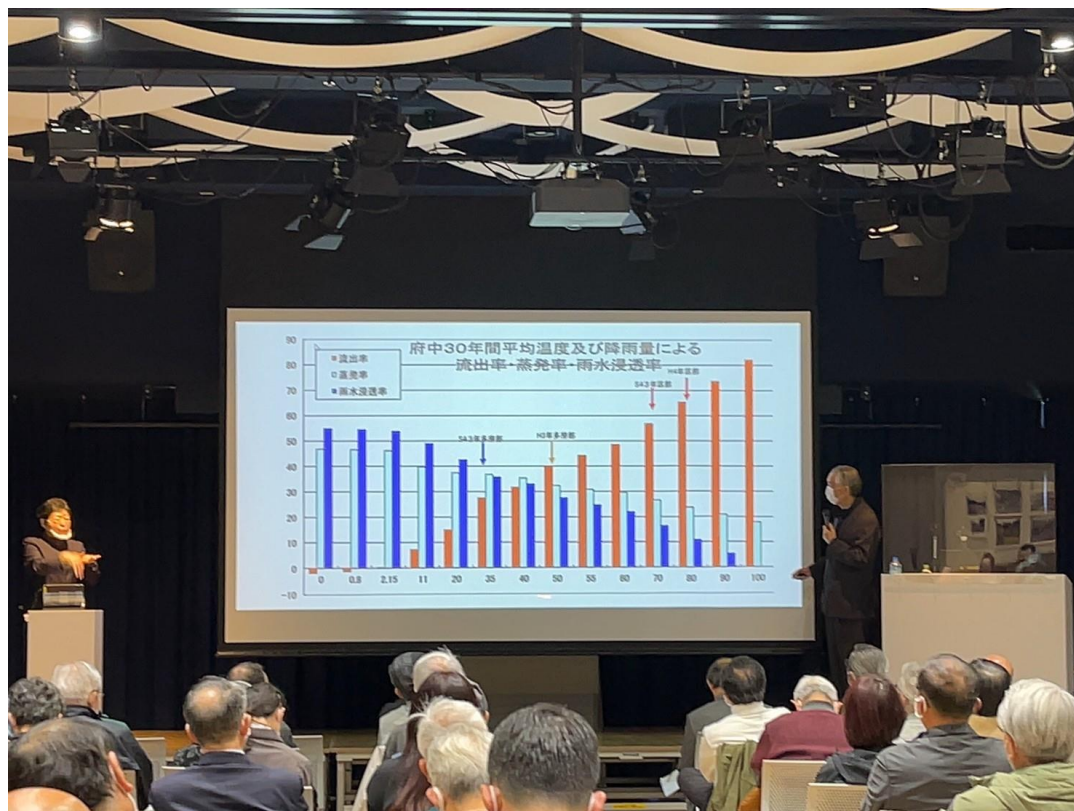
日時：令和5年8月26日（土）9時30分～12時30分
場所：国分寺役所の油津地保全域
対象：国分寺市民の優先となります。
※その他の地域の方も申し込みは可能
募集人数：30名（応募者多数の場合は、抽選となります。）
※参加の方に「手拭いタオル」をプレゼントします。
申込方法：「里山へGO！」よりお申し込みください。

お問い合わせ先：
（公財）東京都環境公社 意見の聴取の会 白木昭憲
 国分寺市環境ひろば事務局
 国分寺市環境局 環境課
 国分寺市役所 環境課
 国分寺市役所 環境課
 国分寺市役所 環境課



●環境シンポジウム

市と環境ひろばが協働して毎年実施している環境に関する講演会



環境教育・環境学習： 市の環境教育・環境学習に関する取組の紹介

●夏休みこども自然教室

小学生を対象に西恋ヶ窪緑地（エックス山）を探索しながら、植物や昆虫などの自然観察等を通じて自然にふれあい・学ぶ体験学習。



西恋ヶ窪緑地における過去の夏休みこども自然教室の様子

環境教育・環境学習に関して出された主な意見

■ 私たちが思う、環境教育・環境学習の現状・問題点

- 強み:** 野川の源流、姿見の池、縄文の遺跡など文化財が多く、歴史や自然に触れて環境を学習できることである。
- : 国分寺まつりやぶんぶんウォークといった啓発イベントが行われている。
 - : 地球温暖化対策としてアマモの再生をしている企業があるという声が聞かれた。
- 弱み:** 環境教育や環境学習の情報が届かない、情報発信が少ない、ホームページが見つらいなどの情報発信についての弱みを各班から多く聞かれた。
- : 詳細が不明のため、参加しにくいと感じたり、環境教育・学習の場には参加せずインターネットで勉強するとの意見もあった
 - : 小学校は学校内給食なのに、中学校は市外の民間業者からのお弁当を取り寄せており、食育の点で弱いという指摘があった。

■ 環境教育・環境学習をより活性化させるためのアイデア

- エックス山の活用を広げる。
- 市への要望として、環境教育・環境学習やイベントの情報を、世代別に情報発信の内容や手段を変え、情報を得やすくするべきとの意見があった。その方法として、アプリやインターネットを利用するなど世代に合わせて発信するといった方法である。
- 国分寺まつり、ぶんぶんウォークに加え、音楽などアートと連携した環境フェスやトークイベントなどポジティブなイベントを行ったらどうかという意見もあった。
- 小学校から高校まで環境に関する課外授業や出前事業を取り入れることで、大人になってからも環境問題に高い意識をもたせれるのではないかという意見もあった。

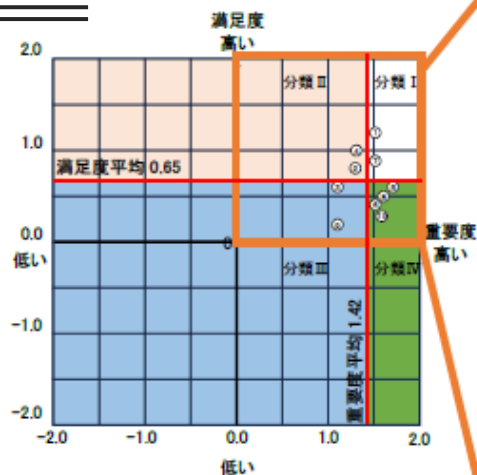
情報提供の内容

2. 次世代アンケート調査の結果の概要

2. 次世代アンケート調査の結果の概要

問4 満足度・重要度

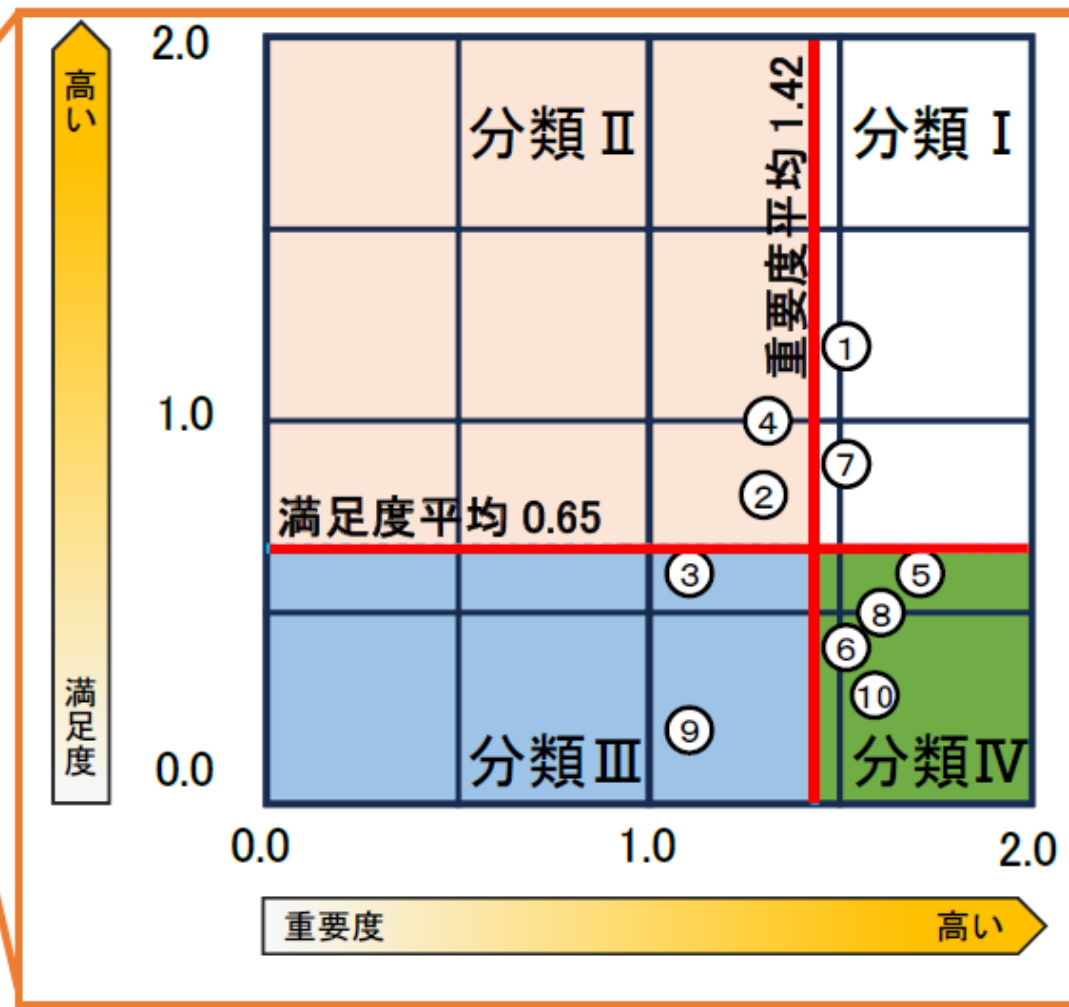
あなたは、次にあげる国分寺市の環境についてどのくらい満足していますか。また、将来の国分寺市の環境にとってどのくらい重要だと思いますか。（単一回答）



全体の傾向として、肯定的な意見が多くなっています。

【満足度・重要度のマトリックス図】

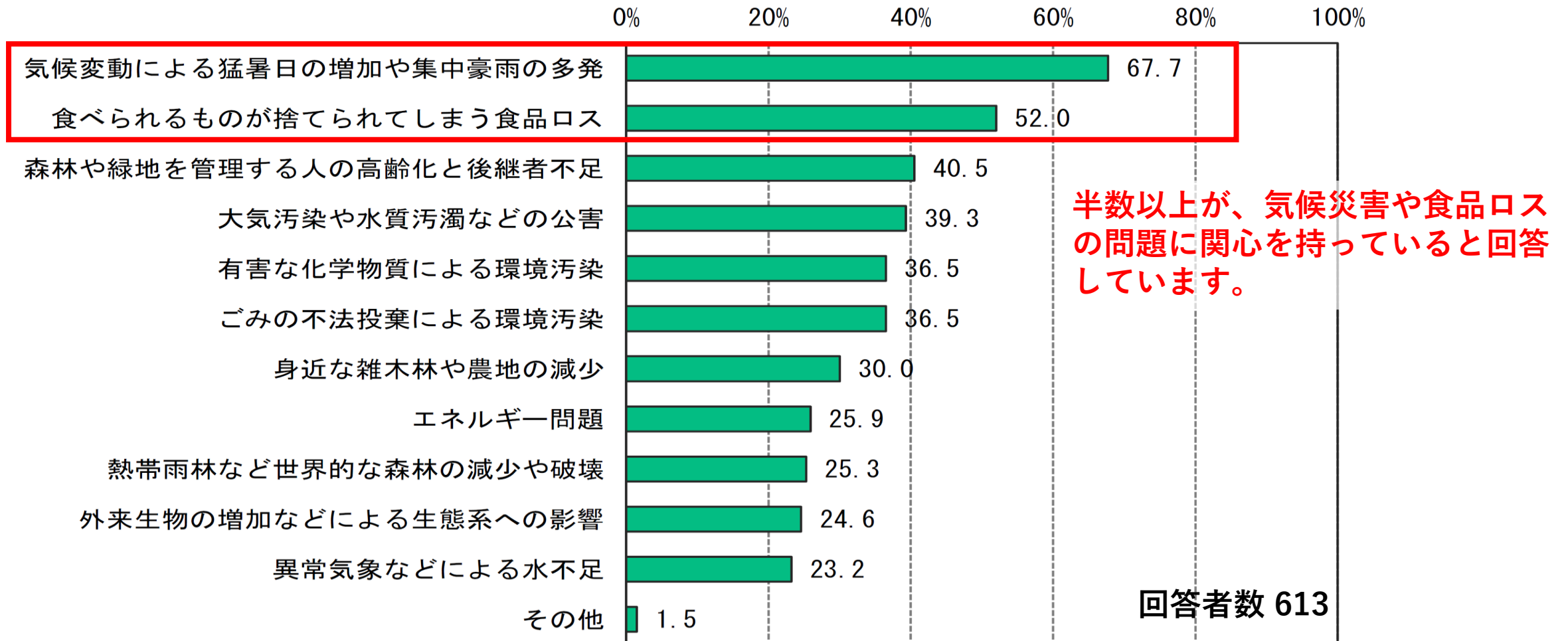
分類II [満足度が高いが、重要度はやや低い]	満足度	重要度	分類I [満足度・重要度がともに高い]	満足度	重要度
② 川や池など水と親しむ空間がある	0.8	1.3	① 花や緑を感じられる場所がある	1.2	1.5
④ 市内でとれる新鮮な農畜産物（こくベジ）が食べられる	1.0	1.3	⑦ 公園や緑地が多い	0.9	1.5
分類III [満足度・重要度がともにやや低い]	満足度	重要度	分類IV [満足度がやや低いが、重要度は高い]	満足度	重要度
③ いろいろな種類の生きものが生息・生育している	0.6	1.1	⑤ 空気がきれいで、騒音がなく快適である	0.6	1.7
⑨ 環境について学ぶ機会がある	0.2	1.1	⑥ まちなみが美しい	0.4	1.5
			⑧ ごみの減量・リサイクルに熱心に取り組んでいる	0.5	1.6
			⑩ 環境に関する人々の意識が高く、マナーが良い	0.3	1.6



回答者数613

問5 環境問題への関心

次にあげる環境問題のうち、あなたが特に心配することは何ですか。（複数回答5つまで）



問11 環境学習・環境活動の経験

あなたは、次にあげる環境学習・環境活動を経験したことがありますか。また、どのようなきっかけで経験することになりましたか。（複数回答）

回答者数 613

No.	項目	①学校の授業のなかで 経験した	学校以外の活動		④経験して いない
			②家族や友達 に誘われて学 んだ、参加・ 経験した	③自ら進ん で学んだ、 参加・経験 した	
1	地球温暖化や野生生物の減少 など環境問題に関する学習会	67.9%	4.6%	4.4%	26.1%
2	生きもの観察会など地域の自然 にふれあう体験学習	47.1%	16.8%	5.9%	36.2%
3	農作物の収穫体験	65.4%	17.6%	9.5%	18.4%
4	ごみ拾いなどの清掃活動	36.4%	4.6%	4.4%	19.6%
5	公園や道路などの緑化活動	15.2%	4.1%	2.1%	76.3%
6	その他	0.5%	0.5%	0.3%	

学校以外で環境学習・環境活動を経験する人は、
いずれの項目も2割未満と低くなっています。

情報提供の内容

3. 本日のグループワークの進め方

3. 本日のグループワークの進め方

過去のワークショップのふりかえり

自然環境の分類

- └ 緑と水、生きもの
- └ 農業・農地
- └ 情報提供、環境学習の場
- └ その他

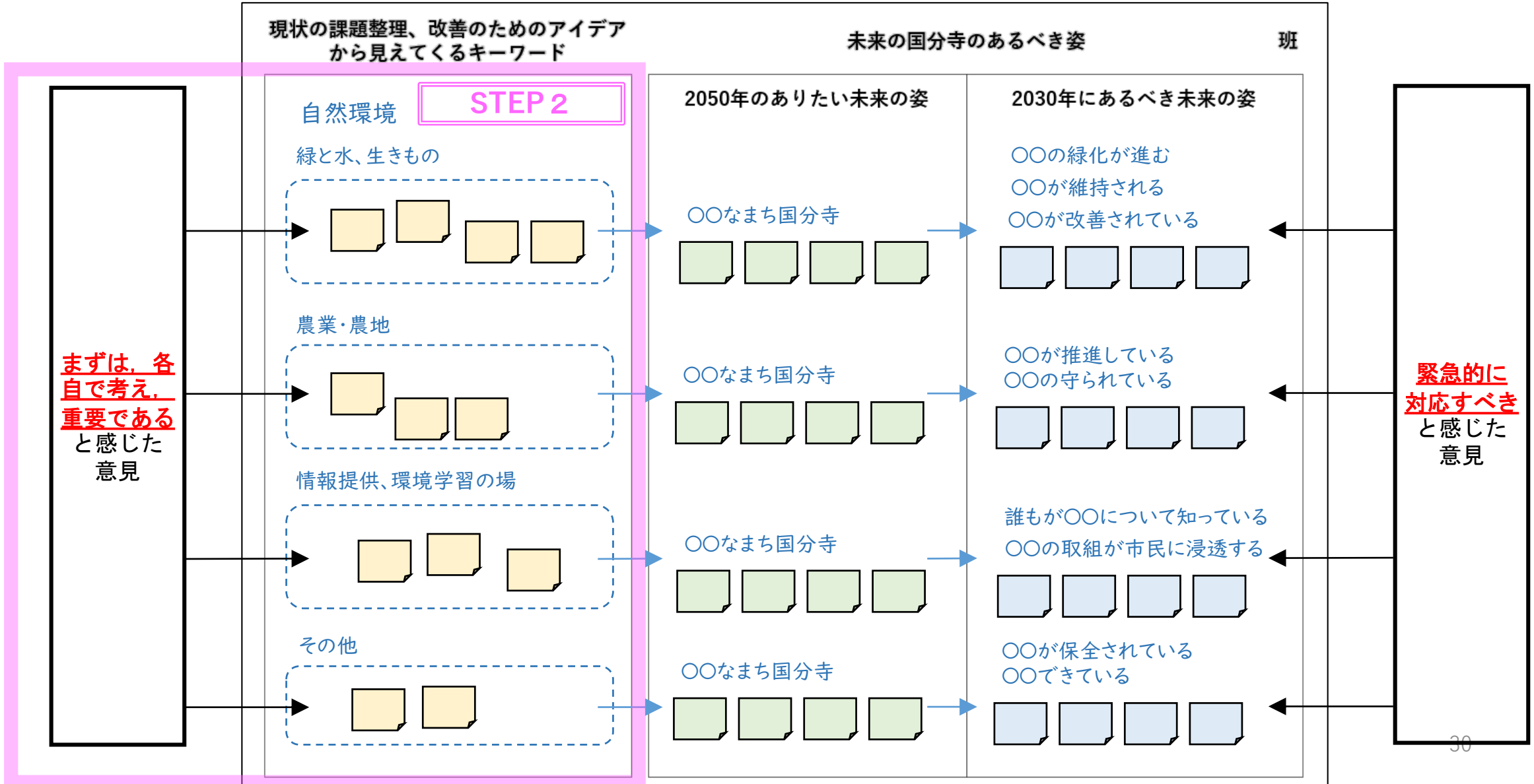
【配付資料】 第1・2回ワークショップ(WS)のふりかえり ~分野ごとに4つのグループに分けてキーワードを考える~

テーマ: 自然環境(第1回WS) ※Aグループ担当

分類	現状の課題整理	改善のためのアイデア	キーワード
緑と水、生きもの	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昔ながらの湧水や用水、農地や樹林地が残っている。 ●市内に自然が様々な箇所に点在している ●公園が多く、湧水と親しめる手押し式ポンプの井戸が設置された公園もある。 ●湧水や緑地が、自然豊かで、玉川上水との水路跡等の歴史資源がある。 ●緑が多く、武蔵国分寺公園といった広い公園があり、武蔵国分寺公園では新たな公園管理が成功している。 ●緑と建物のバランスが都心よりも高く、涼しい。 ●地域によっては、強み/実践例さん植えられている。 ●清水川などでは、季節が感じられ、避暑地もある。 ●散歩のしやすい環境がある。 ●エックス山や姿見の池など歩くと、緑や湧水、珍しい鳥などが見られ、生きものを感じられる自然環境がある。 ●姿見の池緑地や湧水、野川など、緑が多く、水がきれいで、空気もきれい。 ●地震に強く、水害が少なく、安全性の高い地域である。 ●保全活動によって野生生物が守られ、希少種が繁殖を続けている。 ●珍しい生きものが生息している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都のみどり率の基準並みに改善するため、市街化や交通整備等の開発を見直し、自然環境の維持、公園の多さ、植木といった昔ながらの産業の維持が考えられるのではないか。 ●公園の整備によるみどり率の減少対策を講ずる。 ●開発行為に対してみどり率の低下を防ぐ対策を講じるべきであり、そのためには土地の公共性をより重視する必要がある。 ●緑地や公園の維持や整備に向けた具体的な方向性を話し合う。 ●市民と市が協働により緑と水の保全のための指導を強化するべきである。 ●公園の緑地の整備にシルバー人材センターの活用を継続して進めていくことも重要である。 ●今まで以上に行政と市民団体が樹林地などの緑地保全に取り組む。 ●改善のためのアイデア ●建物の空きスペースで植物を育てる。 ●自宅の庭の緑化やマンションの屋上緑化の推進が必要である。 ●農業用水路等を復活させて緑地空間として活用する。また、環境教育・環境学習の場にするのも有効である。 ●国分寺市の下水は合流式のため中水利用や、地下水保全を目的とした大規模な雨水浸透策を考えるべきである。 ●野川の整備を市民と行政が協力して促進しなければならない。 ●都へ野川の整備を要請する。 ●生物多様性に関する小中学生への学習支援が必要である。 	<p>STEP 1</p> <p>ファシリテーターから資料について説明があります。 重要だと感じたもの (キーワード)を書き出してください。</p> <p>メモ</p>
	<p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身近な雑木林も、管理が大変、相続等の理由で伐採され緑が少なくなった。 ●大きな公園の数や街路樹が少なく、緑の保全に地域差がある。 ●内藤や北町など自然環境が劣化している。 ●ナラ枯れやスズメ弱み/問題点物多様性の保全など生態系の変化が生じている。 ●竹林のある広い庭を持つお家が、ほとんど緑の無い複数の分譲住宅になっている。そのため、全体として緑が減少している。 ●樹林地の保全が不十分な状況にある。 ●東京経済大学の新次郎池(の情報)に触れる機会が少ない。 		

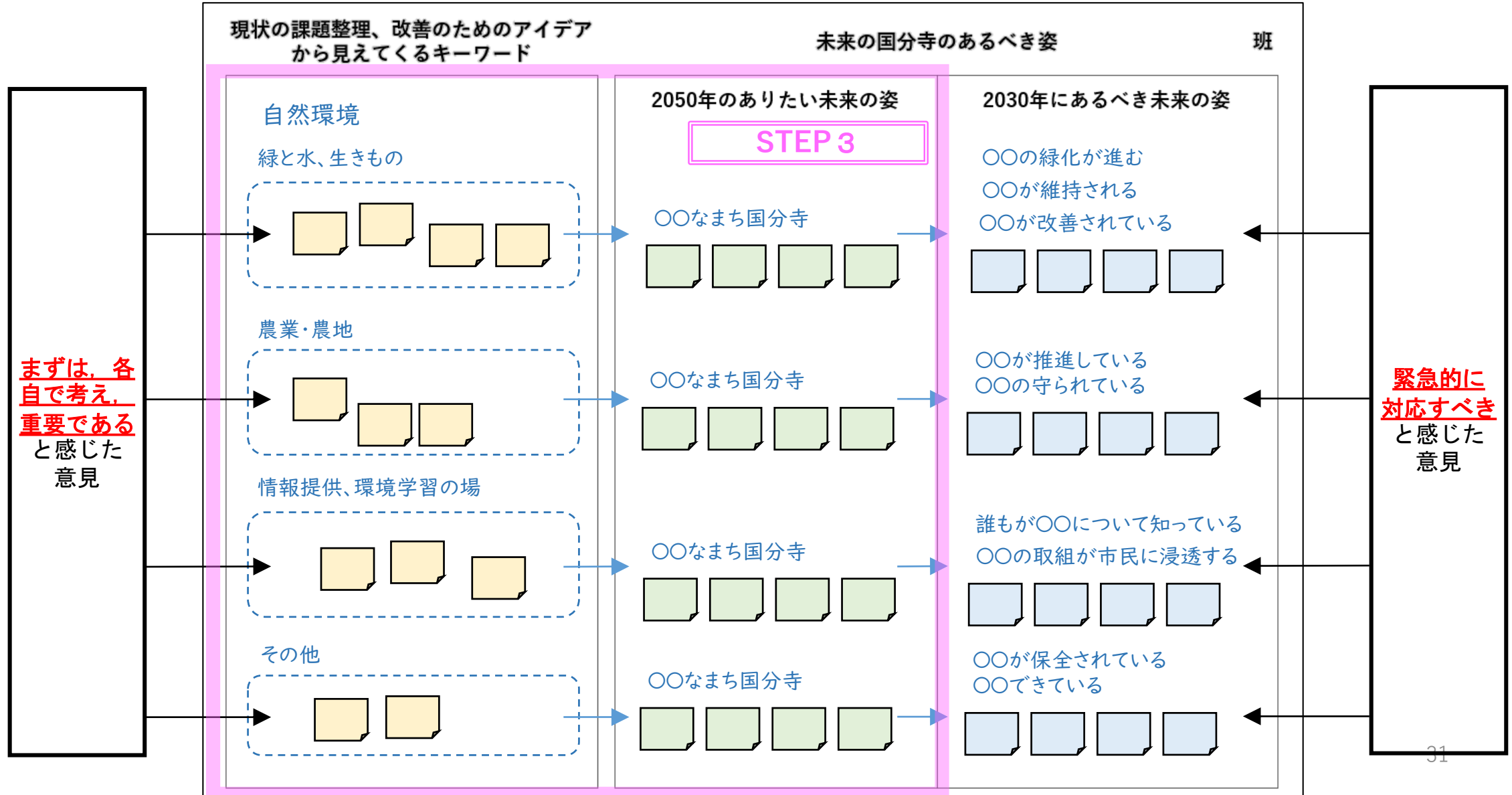
3. 本日のグループワークの進め方

キーワードの抽出



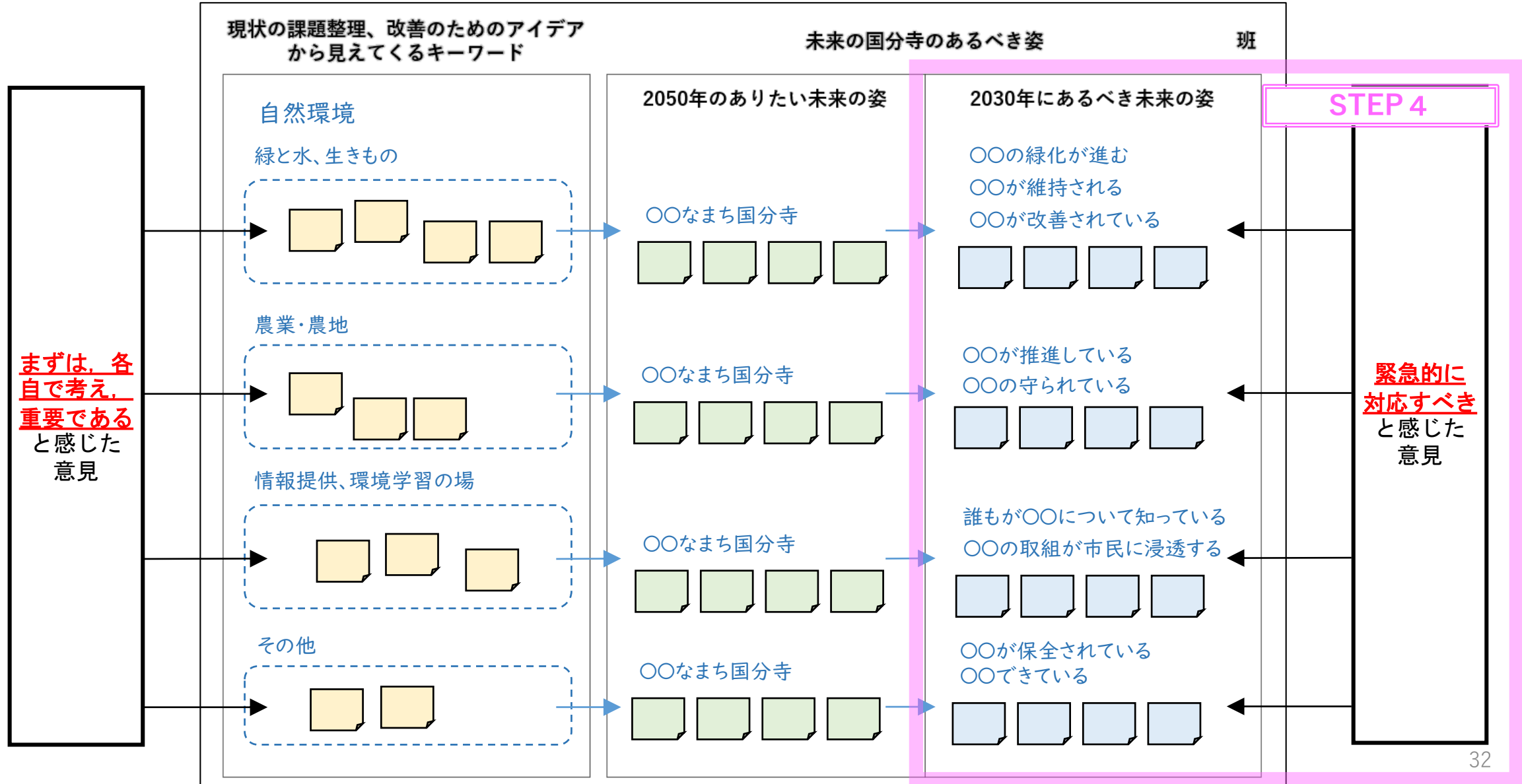
3. 本日のグループワークの進め方

グループごとの未来の姿の検討 2050年のありたい未来の姿



3. 本日のグループワークの進め方

グループごとの未来の姿の検討 2030年のあるべき未来の姿



第3回市民ワークショップの結果の反映、今後の検討内容

新しい環境基本計画においては、社会情勢の変化やワークショップの意見などを踏まえ、新たな施策の体系などを作成します。

今回のワークショップでいただくご意見を踏まえ、今後、環境全体の目指すべき将来像、基本方針の案を作成していきます。

第4回・第5回のワークショップでは、環境施策と具体的な取組などについて議論します。

望ましい将来像	環境分野・基本方針	施策の方向	主な施策
未来の子どもたちへ引き継ぐ まなび	【自然環境】 緑と水が調和した潤いのあるまち	1-1 緑と水のネットワークの形成	●拠点となる緑や水辺の保全・整備
		1-2 緑の保全	●樹林地などの適切な維持管理 ●公園・緑地の整備
		1-3 まちなかの緑化	●公共施設の緑化
		1-4 水環境の保全・整備	●湧水・地下水の保全・活用 ●野川整備事業の促進
		1-5 都市農地の保全・活用	●都市農地の保全・活用 ●地産地消の推進
		1-6 生き物の生息空間の保全	●生き物の実態調査 ●生き物とのふれあいの機会の創出
2050年のありたい 未来の姿	【生活環境】 安全・安心に暮らせるまち	2-1 2030年のあるべき 未来の姿	●低公害車の導入の推進・普及啓発 ●悪臭の発生防止
		2-2 生活環境のイメージアップ	●大気や水質などの測定
		2-3 化学物質対策の推進	●化学物質に関する情報の収集・提供
		2-4 食の安全性の確保	●食の安全性の情報提供 ●給食食品などの放射性物質濃度の測定
まなび	【都市環境】 環境に配慮した良好な 都市空間づくり	3-1 環境に配慮したみちづくり	●道路整備の推進
		3-2 環境に配慮したまちづくり	●自転車利用の推進
		3-3 地域性豊かな景観の形成	●良質な住環境の創出 ●まちの美化活動の促進
まなび	【地球環境】 資源が循環し、エネルギー が有効に利用される地球 にやさしいまち	4-1 地球温暖化対策の推進	●地球温暖化対策の計画的な推進
		4-2 省エネルギー・省資源の促進	●省エネルギー・省資源行動の促進
		4-3 再生可能エネルギーの導入・創エネルギーの推進	●再生可能エネルギーの導入・創エネルギーの推進
		4-4 ごみの発生抑制、減量化・資源化の推進	●ごみの発生抑制 ●ごみ減量や分別などの普及啓発
まなび	【環境教育・環境学習】 地域に学び、人のつながりや活動を生み出すまち	5-1 環境教育・環境学習の推進	●多様な主体による環境教育・環境学習の推進 ●環境学習に関する情報提供、学習教材づくり
		5-2 人づくり、仕組みづくり	●地域資源を活用した体験型学習の推進 ●環境活動の促進と支援
			●環境教育・環境学習の機会の促進 ●地域リーダーの育成、ネットワーク化の支援

今後のスケジュール(予定)

※開催時期や回数などは目安です。

	令和5年度	令和6年度
ワークショップ	 1 8月 2 10月 3 11月	 4 5月 5 8月
次世代アンケート	 10月	
環境基本計画 の骨子の検討	 12月 3月	
環境基本計画案 の検討		 4月 10月
パブリックコメント (説明会)の検討		 11月
環境基本計画 の決定		 3月